

## NHK朝ドラ主人公のモデル



村岡花子と遠縁に当たる賀川ハルの写真を示す語り部の横井幸雄さん(右)と伊藤潤子さん＝神戸市中央区吾妻通5、賀川記念館

翻訳家村岡花子(1888～1968年)の生涯を題材にしたNHK連続テレビ小説「花子とアンの」に、社会活動家賀川豊彦の業績を紹介する賀川記念館(神戸市中央区)が熱い視線を送っている。豊彦の妻ハルが花子の遠縁に当たり、同館は「ドラマを機に豊彦やハルにも注目を」と9月には特別展を開く。

(黒川裕生)

# 翻訳家村岡花子 実は神戸ゆかり

## 社会活動家 賀川豊彦の遠縁

村岡花子と賀川ハルの関係図



ドラマで花子の夫となる村岡英治のモデルが、福音印刷(劇中の村岡印刷)社長の村岡とみる。

村岡倣三の父で、福音印刷創業者の村岡平吉が、ハルの伯父である。

ハルは1888(明治21)年、神奈川県横須賀市生まれ。父の芝房吉が、平吉を頼り福音印刷神戸工場で働くことになり、ハルが16歳のとき、一家で神戸に移り住んだ。

神戸のスラムで伝道に取り組んでいた豊彦と出会ったハルは25歳で結婚。貧しい人々の救済など豊彦の活動を終生支え、自身も執筆や女性解放運動に力を尽くした。

### 9月から特別展

同館によると、花子とハルに親交があったとの記録は確認できないが、1922(大正11)年に平吉の葬儀が横浜指路教会(横浜市)で営まれた際、司式で豊彦が務め、ハルも同行。同館は「教会で顔を合わせたのは確実」とみる。

ドラマでは、平吉モデルにした人物の存在感が強まり、関係者の間で「平吉の葬儀の間で、豊彦が登場するのでこの期待が高まる。ドラマにあやかり、同館は9月から、花子とハルの人生を重ねながらたどる特別展を開く予定。豊彦の功績を伝える同館の語り部、横井幸雄さん(76)神戸市須磨区は「2人とも幼いころから聡明で自立した女性という共通点も多い」と話す。

同館 ☎078・221・3627